

■主宰共同研究・委託共同研究 実施一覧■

2022.3 現在

＜第1回主宰共同研究＞（2002.4～2004.3）

「ユーラシア大陸と万葉集Ⅰ」

研究代表者：寺川眞知夫氏（万葉古代学研究所長・同志社女子大学教授）

成果発表：・第1回共同研究公開シンポジウム

「〈うた〉のはじまりを世界から考える—ユーラシア大陸と万葉集Ⅰ—」

2004年9月19日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第3号（2005.3）掲載

＜第1回委託共同研究＞（2003.4～2005.3）

「奈良県における万葉古代学関連研究の史的研究」

研究代表者：坂本信幸氏（奈良女子大学教授）

成果発表：・第2回共同研究公開シンポジウム

「万葉の旅ここに始まる」

2005年9月19日（月・祝）実施

・『万葉古代学研究所年報』第4号（2006.3）掲載

＜第2回委託共同研究＞（2004.4～2006.3）

「平城万葉の形成とその基盤に関する総合的研究」

研究代表者：梶川信行氏（日本大学教授）

成果発表：・第3回共同研究公開シンポジウム

「万葉集と平城京—万葉集を成り立たせたものを探る—」

2006年10月8日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第5号（2007.3）掲載

＜第2回主宰共同研究＞（2005.4～2007.3）

「古代儀礼と万葉集」

研究代表者：寺川眞知夫氏（万葉古代学研究所長・同志社女子大学教授）

成果発表：・第4回共同研究公開シンポジウム

「うたといのり—万葉集と世界の文学—」

2007年10月7日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第6号（2008.3）掲載

＜第3回委託共同研究＞（2006.4～2008.3）

「万葉集の成立基盤としてのヤマトの信仰的世界観の総合的研究—二上山周辺地域を視座として—」

研究代表者：大石泰夫氏（盛岡大学教授）

成果発表：・第5回共同研究公開シンポジウム

「人はなぜ二上山にのぼるのか」

2008年9月28日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第7号（2009.3）掲載

＜第4回委託共同研究＞（2007.4～2009.3）

「万葉歌と声の歌との比較研究」

研究代表者：真下厚氏（立命館大学教授）

成果発表：・第6回共同研究公開シンポジウム

「アジアの歌と万葉集」

2009年9月27日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第8号（2010.3）掲載

＜第3回主宰共同研究＞（2008.4～2010.3）

「旅と万葉集」

研究代表者：寺川眞知夫氏（万葉古代学研究所長・同志社女子大学特任教授）

成果発表：・第7回共同研究公開シンポジウム

「人はなぜ旅をするのか—万葉集と世界の〈旅〉—」

2010年10月11日（月・祝）実施

・『万葉古代学研究所年報』第9号（2011.3）掲載

＜第5回委託共同研究＞（2009.4～2011.3）

「万葉の深層を探るエスノアルケオロジー的研究—とくに海洋伝承を中心に—」

研究代表者：後藤明氏（南山大学教授）

成果発表：・第8回共同研究公開シンポジウム

「万葉集と民族学」

2011年9月25日（日）実施

・『万葉古代学研究所年報』第10号（2012.3）掲載

＜第6回委託共同研究＞（2010.4～2012.3）

「『万葉集』と歌木簡—東アジアにおける詩歌の場と記録メディアの展開—」

研究代表者：多田伊織氏（国際日本文化研究センター客員准教授）

成果発表：・第9回共同研究公開シンポジウム

「声から文字へ—木簡に記された詩歌と古代東アジアの詩歌の場—」

2012年9月29日（土）実施

・『万葉古代学研究年報』第11号（2013.3）掲載

＜第4回主宰共同研究＞（2011.4～2013.3）

「飛鳥からの発信—万葉古代学の地平—」

研究代表者：寺川眞知夫氏（同志社女子大学特任教授）

成果発表：・第10回共同研究公開シンポジウム

「万葉古代学の飛鳥」

2013年10月6日（日）実施

・『万葉古代学研究年報』第12号（2014.3）掲載

＜第7回委託共同研究＞（2012.11～2014.3）

「伎楽面・舞楽面・能面・狂言面の比較研究」

研究代表者：見市泰男氏（能面打師・京都嵯峨芸術大学大学院非常勤講師）

成果発表：・第11回共同研究公開シンポジウム

「仮面が語る芸能の世界」

2014年9月20日（日）実施

・特別講演会 2014年11月1日（土）実施

・特別展示 2014年11月1日（土）～24日（月・祝）実施

・『万葉古代学研究年報』第13号（2015.3）掲載

＜第8回委託共同研究＞（2013.8～2015.3）

「日本列島の古代における音の超越性—祭祀芸能の比較研究と音楽・映像による実践的研究の視座から—」

研究代表者：福岡ユタカ氏（作・編曲家）

成果発表：・第12回共同研究公開シンポジウム

「音と映像で体感する超越性の古層」

2015年9月27日（日）実施

・『万葉古代学研究年報』第14号（2016.3）掲載

＜第5回主宰共同研究＞

「海外における記紀万葉の受容に関する比較研究—翻訳にあらわれる日本文学の特徴について—」（2014.4～2016.3）

研究代表者：井上さやか（万葉文化館主任研究員）

成果発表：・第13回共同研究公開シンポジウム

「万葉集翻訳の夜明け」

2016年10月2日（日）実施

・『万葉古代学研究年報』第15号（2017.3）掲載

＜第9回委託共同研究＞（2015.7～2017.3）

「万葉集の受容した漢籍・仏典とその表現形成の研究」

研究代表者：辰巳正明氏（國學院大学名誉教授・中国南開大学客員教授）

成果発表：・第14回共同研究公開シンポジウム

「万葉集の中の漢籍・仏典を考える—新しい万葉集の世界を拓く—」

2017年9月16日（土）実施

・『万葉古代学研究年報』第16号（2018.3）掲載

＜第10回委託共同研究＞（2016.4～2018.3）

「万葉集を訓んだ人々・人々の読んだ万葉集」

研究代表者：乾善彦氏（関西大学教授）

成果発表：・第15回共同研究公開シンポジウム

「万葉集をよんだ人々・人々のよんだ万葉集」

2018年9月22日（土）実施

・『万葉古代学研究年報』第17号（2019.3）掲載

＜第6回主宰共同研究＞（2017.4～2019.3）

「神話の視覚化に関する比較文化的研究—記紀万葉を軸に—」

研究代表者：井上さやか（万葉文化館指導研究員）

成果発表：・第16回共同研究公開シンポジウム

「聖なるイメージの東西」

2019年11月2日（土）実施

・『万葉古代学研究年報』第18号（2020.3）掲載

＜第11回委託共同研究＞（2018.6～2020.3）

「現代社会における古代文化の二次創作—サブカルチャーが描いた記紀・万葉集—」

研究代表者：橋本裕之氏（大阪市立大学特別研究員）

成果発表：・第17回共同研究公開シンポジウム

「古代文化の Re:Creation ～記紀万葉をアニメ・マンガで描こうとしてみた～」

2020年9月19日（土）実施

・『万葉古代学研究年報』第19号（2021.3）掲載

＜第12回委託共同研究＞（2019.6～2021.3）

「万葉集の作歌をめぐる都市交通史的研究」

研究代表者：小鹿野亮氏（筑紫野市教育委員会）

成果発表：・第18回共同研究公開シンポジウム

「万葉考古学ことはじめ —都市・交通・境界—」

2021年9月26日（日）実施

・『万葉古代学研究年報』第20号（2022.3）掲載

＜第7回主宰共同研究＞（2020.4～2022.3）

「古代日本の思想文化に関する学際的研究—『万葉集』にみる—」

研究代表者：井上さやか（万葉文化館指導研究員）

成果発表：・第19回共同研究公開シンポジウム

2022年8月 実施予定

・『万葉古代学研究年報』第21号（2023.3）掲載予定

＜第13回委託共同研究＞（2021.6～2023.3）

I 「奈良県吉野地方を中心とする蓄積型文学史の共同研究」

研究代表者：倉持長子氏（聖心女子大学非常勤講師）

成果発表：・第20回共同研究公開シンポジウム

2023年 秋 実施予定

・『万葉古代学研究年報』第22号（2024.3）掲載予定

II 「『万葉集』と道教・仏教・医学～超越的存在への憧憬と苦からの解放」

研究代表者：大形徹氏（立命館大学衣笠総合研究機構特別招聘教授）

成果発表：・第20回共同研究公開シンポジウム

2023年 秋 実施予定

・『万葉古代学研究年報』第22号（2024.3）掲載予定